

2010年猪苗代湖の蜃気楼

～これは蜃気楼か？：二段の正立像～

北海道・東北蜃気楼研究会
会津若松市 星 弘之

猪苗代湖で今年初めての蜃気楼観測は2月24日、前日の天気予報で当日は快晴とのこと、アメダス猪苗代は19時から朝4時まで北東の風2～3m絶好の蜃気楼日和、7時頃家を出発、猪苗代湖畔に到着するも霧が濃く湖面が見えず。10時30分頃まで待機、ようやく霧が晴れ青空は見たが対岸はガスっていてハッキリせず。

11時30分頃からだんだんと下位が消滅、風はほとんどなし、湖面はほぼ鏡面状態、12時頃対岸の山頂の木が伸びているのを観測。12時30分頃から北岸が蜃気楼化14時30分頃まで続く。

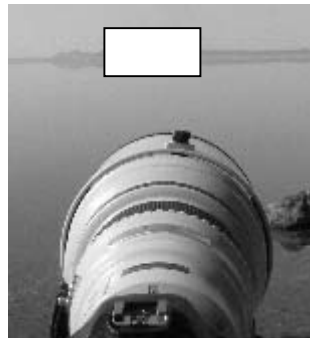
場所を猪苗代湖最南端に移動し観測、所々で蜃気楼化しており16時30分頃まで観測を続けるが帰宅のため観測終了。

今年は2008年小樽での発表とメーリングリストにアップした「これは蜃気楼か？：正立像2段(画像4)」と同様の現象を観測する事が出来た(画像5) また蜃気楼が大きく変化する中、蜃気楼の終末を迎える前の風景とその下に正立像が2段3段と重なっているもの(画像6)が観測された。この現象を動画と静止画で撮影出来たので発表する。

【2.24の反射像：画像1】



【撮影状況：画像2】



【撮影地点との距離：画像3】



「これは蜃気楼か？：正立像2段」

【崎川浜：2008.5.4：画像4】



水面に映る対岸の像は通常倒立像が出来るはずだが、この画像は正立像の下方にまた正立像が写っている。

↓
会員より小樽での発表後、蜃気楼で反転した像が水面で反射して正立像が見えたのではとの意見があった。

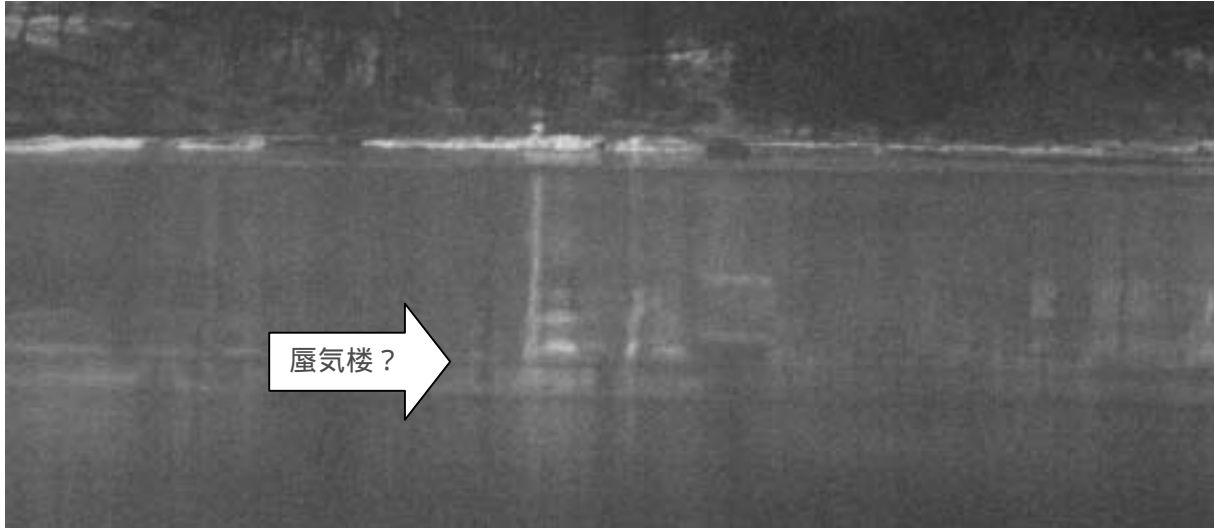
【志田浜：2010.2.24：画像5】



↑
2008年同様の画像を撮影、四角枠の部分に注目、対岸の風景が正立像で湖面に映っている

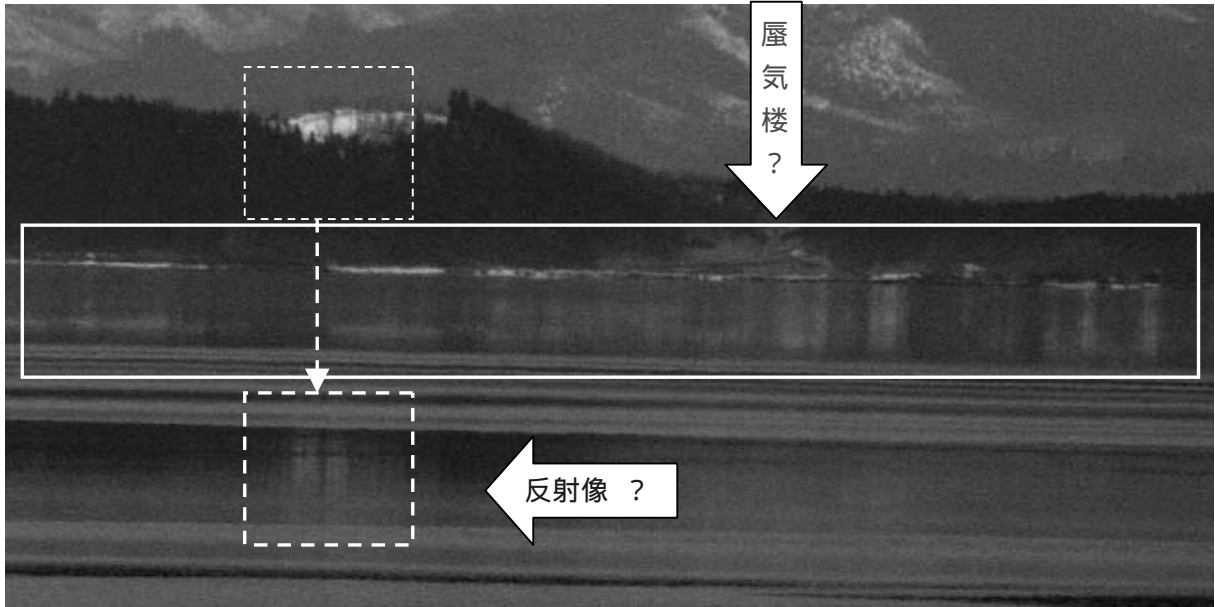
→
長時間撮影が可能なHDDビデオカメラとデジタルカメラのインターバル撮影による観測を2009、2010年継続 2月24日に再度撮影に成功

【長浜：2010.2.24 画像6】



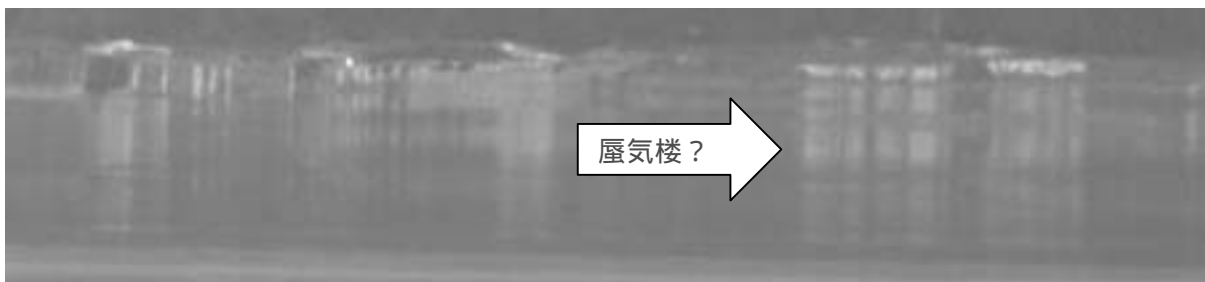
白鳥丸がはっきり判別出来るものだけで正立像が3段に見える 屋気楼？

【西久保：2010.2.24 画像7】



上方の四角鎖線部分が反射して下の四角鎖線となっている、また白の実線長方形部分は屋気楼にも反射のように見える、

【長浜：2009.4.10：画像8】



画像4から8を見る限り反射なのか屋気楼なのか1枚の画像だけだと判別が難しい、インターバル撮影や動画による前後の状況からの判断が必要になってくる。もし2段の正立像(画像6)が屋気楼であるならば、また新しい不思議となり益々屋気楼への興味が増すであろう。また、新たな出会いと発見を求めて屋気楼観測を続けたい。